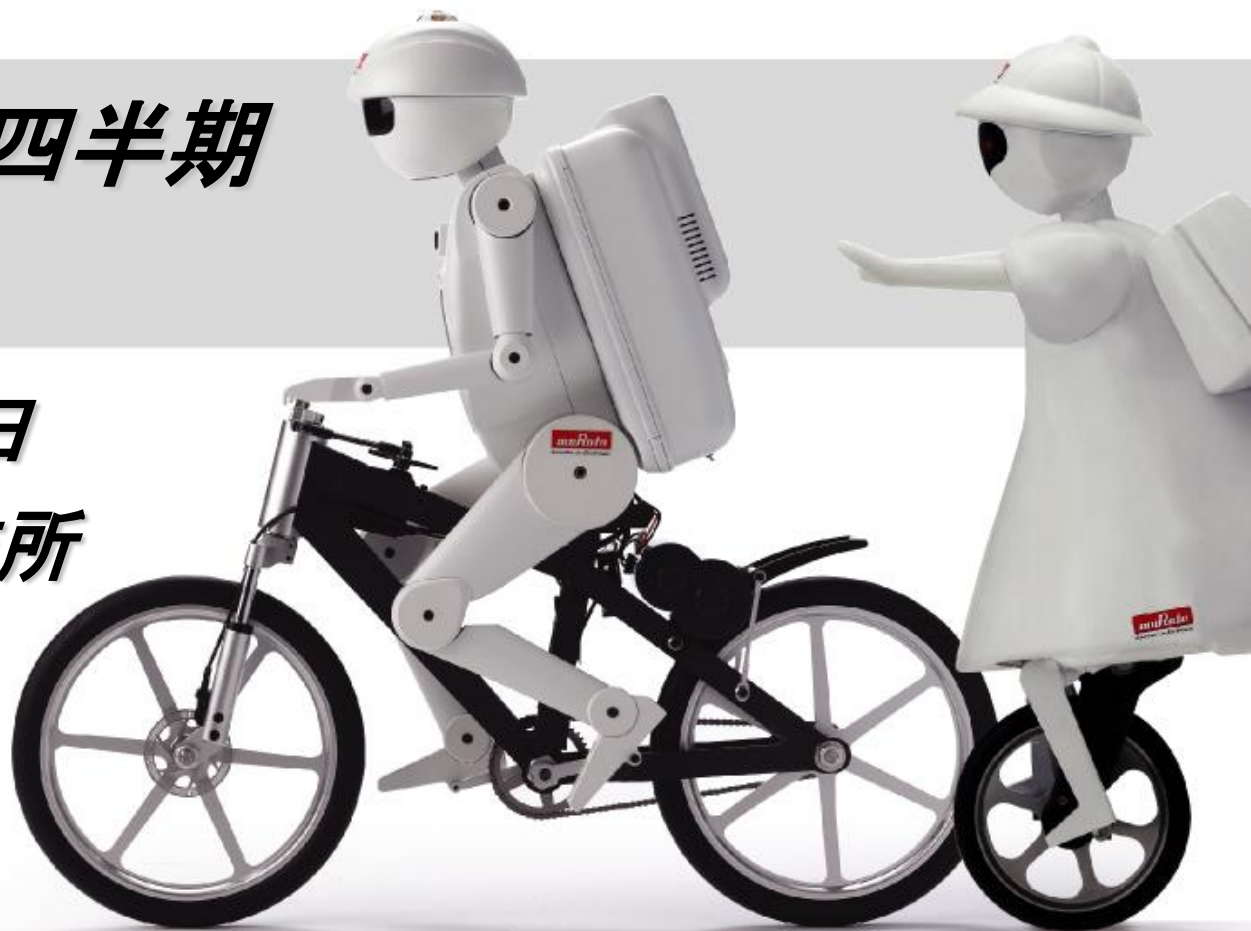


2012年度第2四半期 決算説明会

2012年10月31日
株式会社村田製作所



1. 2012年度 第2四半期業績概要

**2012年4月～2012年9月
第2四半期連結累計期間**

当第2四半期決算のトピック

◆ 業績

- ✓ スマートフォン、タブレット端末向けに、コンデンサ、その他コンポーネント、通信モジュールが大幅に伸長し、業績予想を上回る着地。
- ✓ 前四半期(第1四半期)比で大幅な増収増益。

◆ 設備投資

- ✓ さらなる需要拡大が予想される来期に向け、コンデンサ等の生産能力増強を進めるため、通期で50億円上乘せし、730億円の増額。

業績概況

	2011年度 上半期		2012年度				増減			
			第1四半期	第2四半期	上半期		直前四半期比 12Q2/12Q1		前年同期比 12年上期/11年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	2,959	100.0	1,426	1,721	3,147	100.0	+295	+20.7	+188	+6.3
営業利益	310	10.5	61	182	244	7.7	+121	+198.7	▲67	▲21.5
税引前 四半期純利益	347	11.7	55	175	230	7.3	+121	+220.1	▲117	▲33.7
四半期純利益	237	8.0	36	116	151	4.8	+80	+225.2	▲85	▲36.1

製品別売上高

	2011年度 上半期		2012年度				増減			
			第1四半期	第2四半期	上半期		直前四半期比 12Q2/12Q1		前年同期比 12年上期/11年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	1,099	37.3	524	564	1,089	34.8	+40	+7.6	▲10	▲0.9
圧電製品	396	13.4	191	197	388	12.4	+6	+3.4	▲7	▲1.9
その他 コンポーネント	574	19.5	303	363	666	21.2	+60	+19.8	+92	+16.0
通信モジュール	625	21.2	281	474	755	24.1	+193	+68.5	+130	+20.9
電源他 モジュール	254	8.6	121	116	237	7.5	▲4	▲3.6	▲17	▲6.7
製品売上高計	2,947	100.0	1,420	1,715	3,135	100.0	+295	+20.8	+187	+6.4

製品別売上高概況

(2011年度上半期→2012年度上半期)

コンデンサ (前年同期比▲0.9%)	△チップ積層セラミックコンデンサ カーエレ、タブレット端末向けが好調も、AV機器、家電・その他向けが振るわず、全体では微増
圧電製品 (前年同期比▲1.9%)	△表面波フィルタ 高周波回路のモジュール化の進展で社内取引の割合が増加している影響で減少 ○発振子 カーエレ、携帯電話向けが好調
その他コンポーネント (前年同期比+16.0%)	●EMI 除去フィルタ 携帯電話向けが好調も、薄型TVと基地局向けが振るわず ○コイル 携帯電話、タブレット端末、カーエレ向けに高周波回路用が大きく増加 ○コネクタ 携帯電話、タブレット端末向けで大幅増 ○センサ 買収したVTI社のMEMSセンサが貢献し大幅に増加
通信モジュール (前年同期比+20.9%)	●近距離無線通信モジュール スマートフォン、タブレット端末向けに好調も、携帯メディアプレーヤー、従来型携帯電話向けが振るわず、全体では減少 ○多層デバイス 携帯電話、タブレット端末向けに大きく伸長 ○通信機器用モジュール スマートフォン向けに大幅に伸長したことに加え、買収したルネサス社のPA事業が加わり大幅に増加
電源他モジュール (前年同期比▲6.7%)	●電源 カーエレ向けは好調も、その他用途で振るわず、全体では減少

製品別売上高概況

(2012年度第1四半期→2012年度第2四半期)

コンデンサ (直前四半期比+7.6%)	○チップ積層セラミックコンデンサ スマートフォンなど通信機器向けに大幅に伸長したほか、家電・その他向けを除く全用途で増加
圧電製品 (直前四半期比+3.4%)	○表面波フィルタ スマートフォンの新製品の立ち上がりとLTE化の進展により大幅増 ●ショックセンサ HDD向けでタイ洪水の反動増が一服し減少
その他コンポーネント (直前四半期比+19.8%)	○EMI除去フィルタ 携帯電話、ゲーム機向けに好調 ○コイル 携帯電話、タブレット端末向けに大きく伸長 ○コネクタ スマートフォン、タブレット端末向けに大幅に増加
通信モジュール (直前四半期比+68.5%)	○近距離無線通信モジュール スマートフォン、タブレット端末、携帯メディアプレイヤー向けに大幅に増加 ○多層デバイス 携帯電話向けに大きく伸長 ○通信機器用モジュール スマートフォン向けに急拡大
電源他モジュール (直前四半期比▲3.6%)	●電源 各用途で振るわず減少

用途別売上高

	2011年度 上半期		2012年度				増減			
			第1四半期	第2四半期	上半期		直前四半期比 12Q2/12Q1		前年同期比 12年上期/11年上期	
	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	326	11.1	109	129	238	7.6	+20	+18.5	▲87	▲26.8
通信	1,274	43.2	572	850	1,422	45.4	+278	+48.5	+148	+11.6
コンピュータ及び 関連機器	569	19.3	314	330	645	20.6	+16	+5.1	+76	+13.3
カーエレクトロニクス	398	13.5	254	255	509	16.2	+2	+0.6	+110	+27.7
家電・その他	380	12.9	171	150	321	10.2	▲21	▲12.1	▲59	▲15.6
製品売上高計	2,947	100.0	1,420	1,715	3,135	100.0	+295	+20.8	+187	+6.4

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2011年度上半期→2012年度上半期)

AV機器 (前年同期比▲26.8%)	●薄型テレビ 得意先の生産台数の不振により、電源、MLCCで大きく減少 ●携帯メディアプレイヤー 得意先の生産減により、無線LANモジュールが大幅減
通信 (前年同期比+11.6%)	○スマートフォンの増加とLTE化の進展により、通信機器用モジュール、コネクタ、コイル等が大きく伸長 ○買収したルネサス社のPA事業が加わったことも寄与
コンピュータ及び 関連機器 (前年同期比+13.3%)	○タブレット端末向けで、MLCC、フロントエンドモジュール等が大幅に増加
カーエレクトロニクス (前年同期比+27.7%)	○MLCC、車載用Bluetoothモジュール等が大幅に増加 ○買収したVTI社のMEMSセンサも貢献

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2012年度第1四半期→2012年度第2四半期)

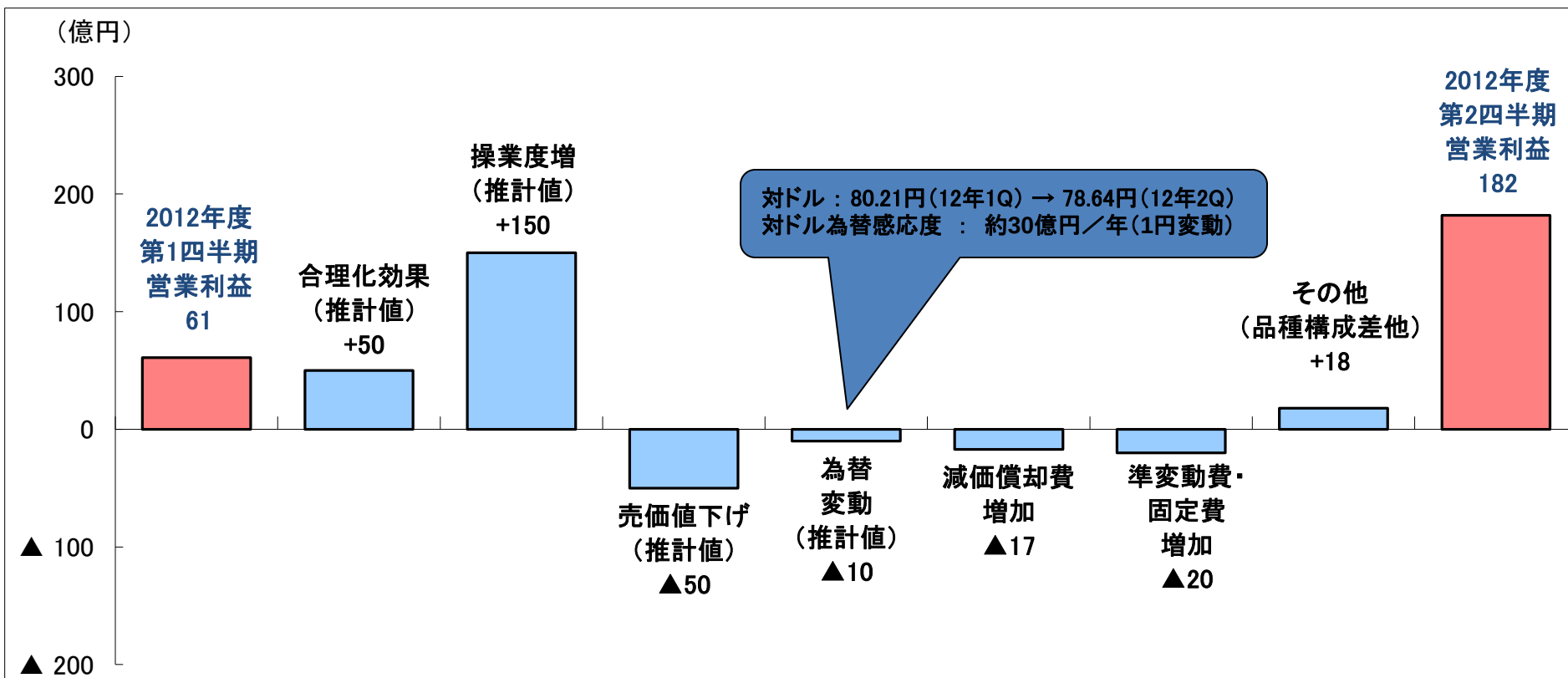


AV機器 (直前四半期比+18.5%)	○携帯メディアプレイヤー 無線LANモジュールが大きく増加 ○ゲーム機 コンデンサ、EMI除去フィルタ等が増加
通信 (直前四半期比+48.5%)	○スマートフォンの新製品の立ち上がりにより、無線LANモジュール、通信機器用モジュール、コネクタ、その他汎用部品が大幅に伸長
コンピュータ及び 関連機器 (直前四半期比+5.1%)	○タブレット端末の成長により、無線LANモジュールや大容量コンデンサ、コネクタ等が大幅に増加
カーエレクトロニクス (直前四半期比+0.6%)	○MLCC、超音波センサが増加

(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因

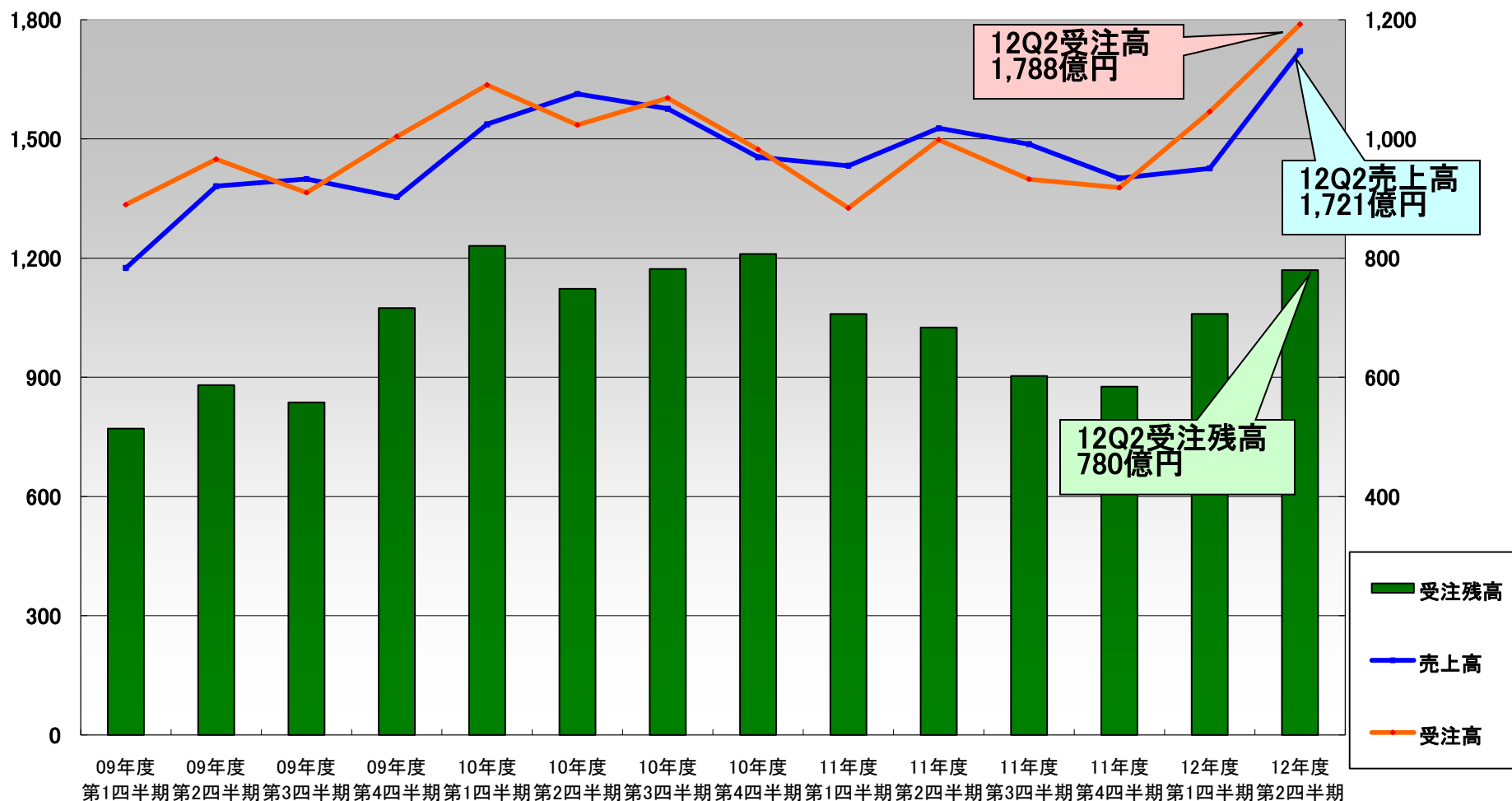
(2012年度第1四半期→2012年度第2四半期)



売上・受注・注残推移(四半期)

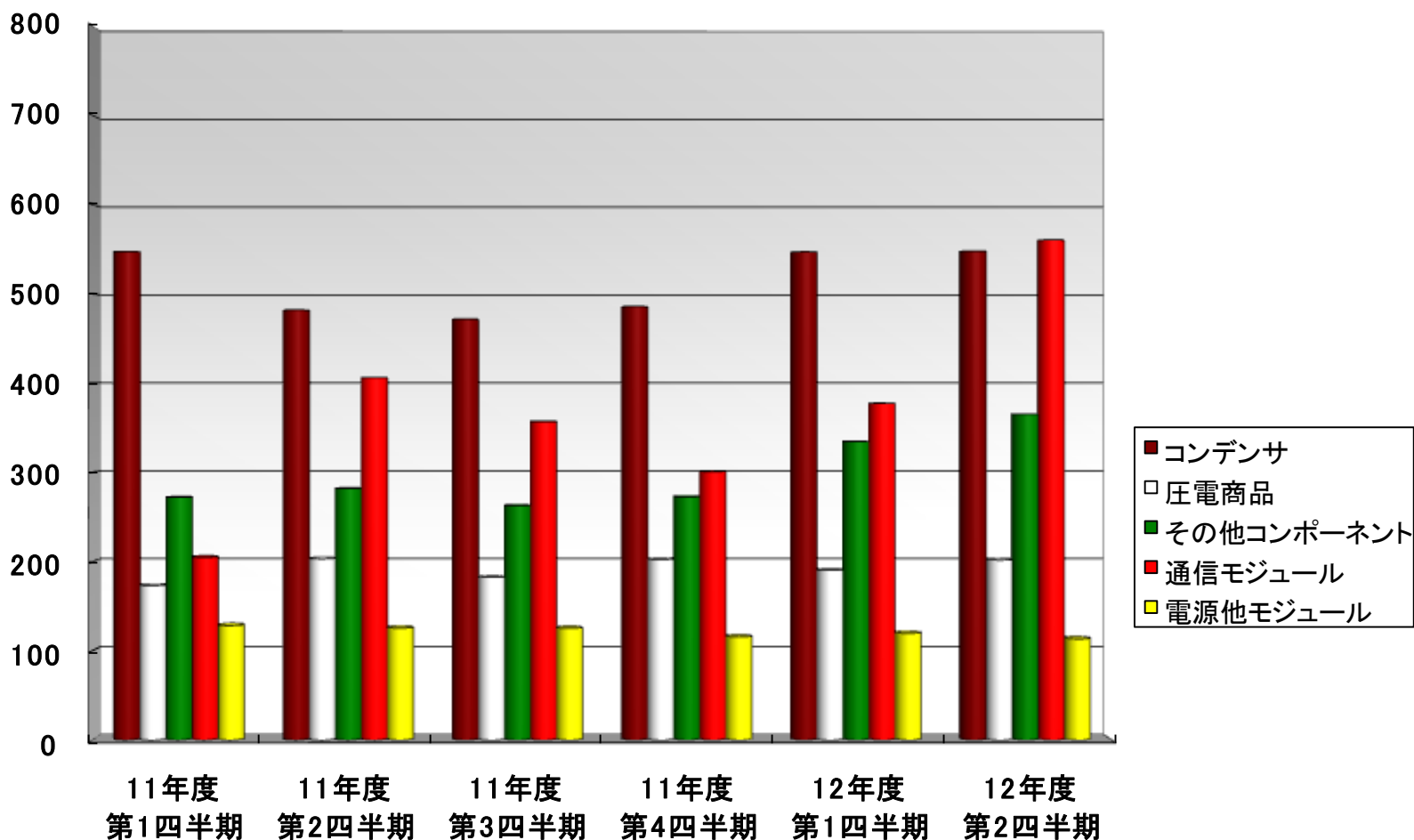
売上高・受注高(億円)

受注残高(億円)

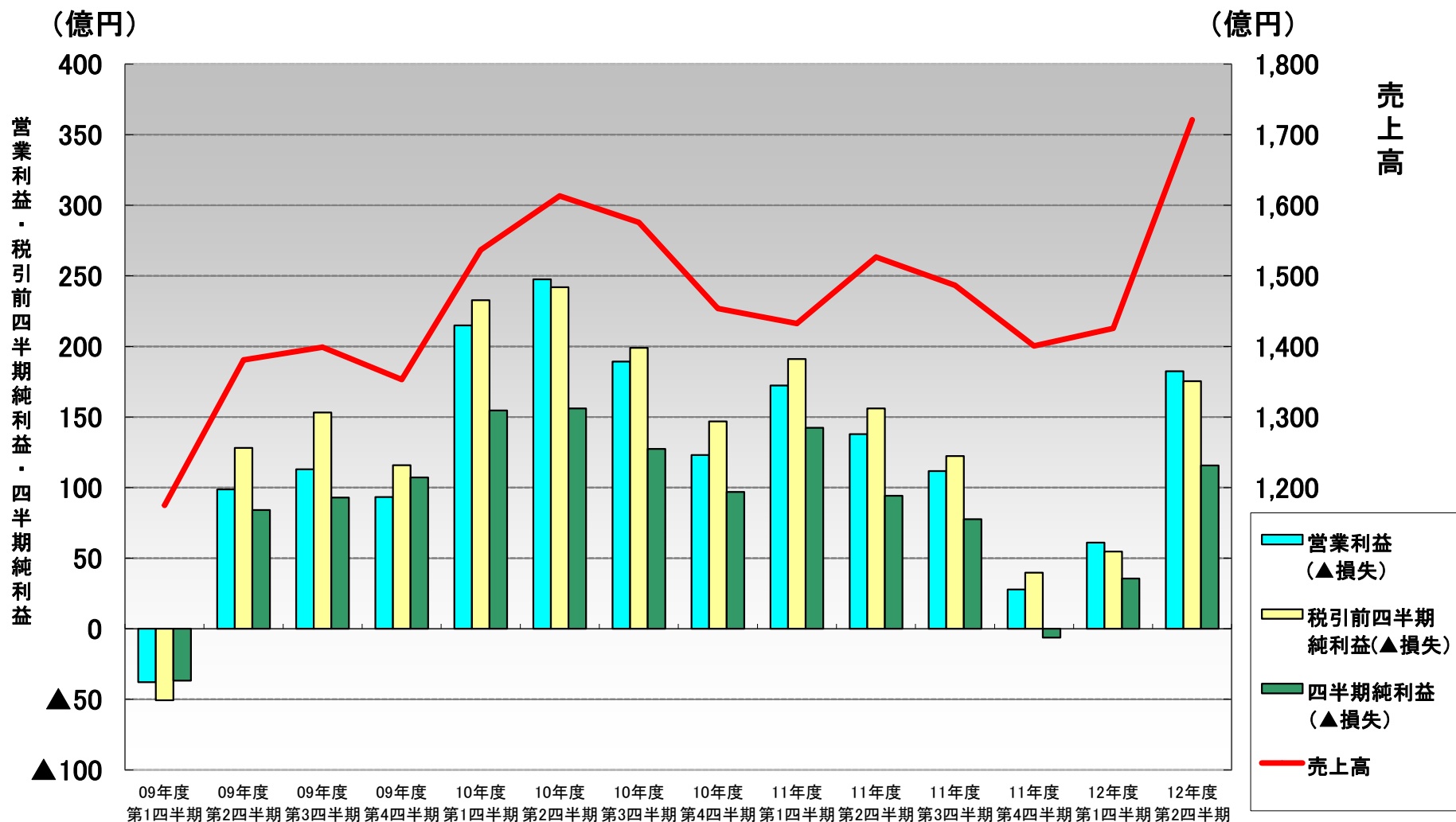


製品別受注高推移

(億円)



業績推移(四半期)



2. 2012年度 業績予想 (2012年4月～2013年3月)

製品別売上予想

	2012年度 通期予想 (前年度比)	2012年度 下期予想 (上期比)
コンデンサ	+6%程度	+2%程度
圧電製品	▲3%程度	▲3%程度
その他コンポーネント	+24%程度	+8%程度
通信モジュール	+31%程度	+32%程度
電源他モジュール	+4%程度	+16%程度
製品売上高計	+14%程度	+11%程度

用途別売上予想

	2012年度 通期予想 (前年度比)	2012年度 下期予想 (上期比)
AV	▲19%程度	横這い
通信	+21%程度	+25%程度
コンピュータ及び 関連機器	+19%程度	+2%程度
カーエレクトロニクス	+19%程度	横這い
家電・その他	▲4%程度	▲6%程度
製品売上高計	+14%程度	+11%程度

(注) 当社推計値に基づいております

2012年度 業績予想

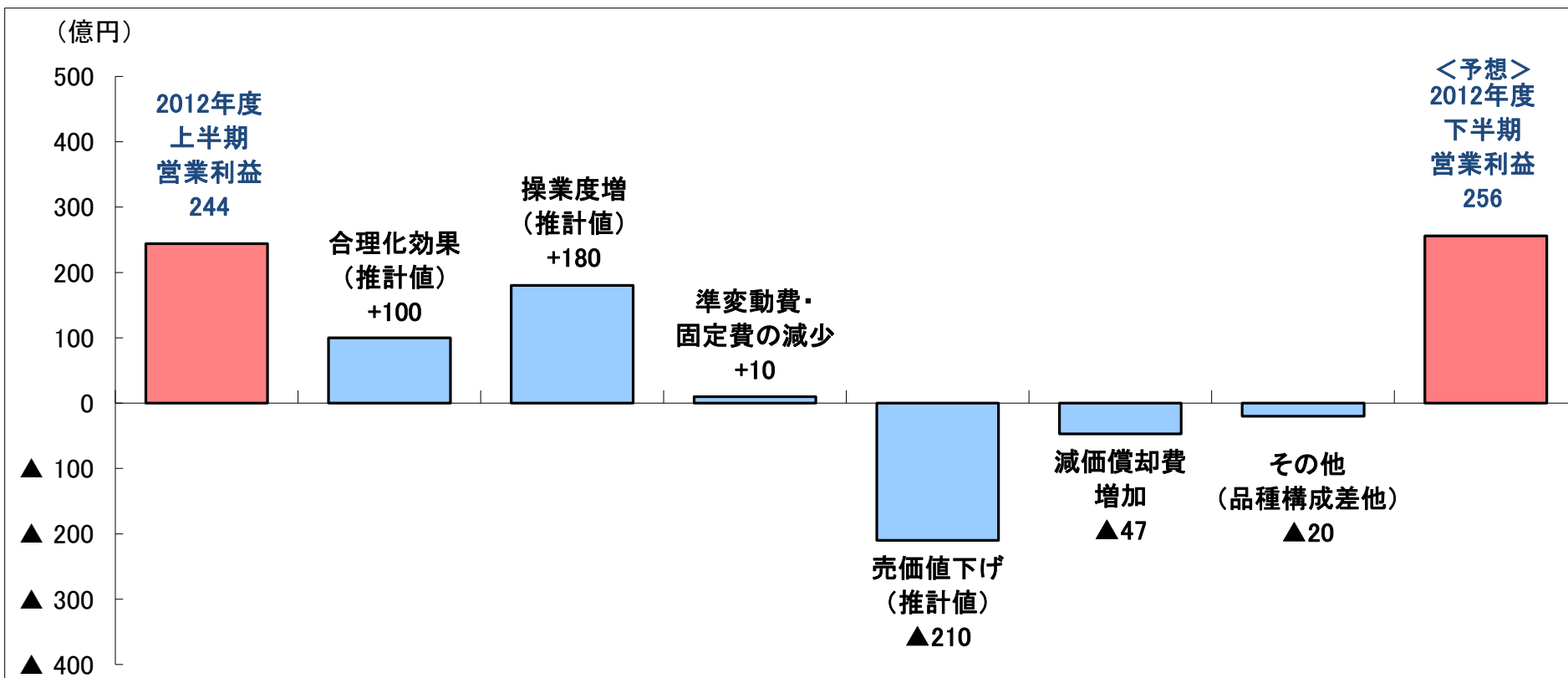
	前回予想(12年7月)			今回予想					
	2012年度			2012年度					
	上期予想	下期予想 4月値据置	通期予想	上期実績		下期予想		通期予想	
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,100	3,550	6,650	3,147	100.0	3,503	100.0	6,650	100.0
営業利益	210	350	560	244	7.7	256	7.3	500	7.5
税引前 当期純利益	210	370	580	230	7.3	270	7.7	500	7.5
当期純利益	150	250	400	151	4.8	179	5.1	330	5.0

業績予想の前提

	2012年度 上期実績	2012年度 下期予想	2012年度 通期予想
減価償却費	331億円	379億円	710億円
研究開発費	232億円	238億円	470億円
設備投資額	461億円	269億円	730億円
為替レート(US\$)	79.42円/US\$	80.00円/US\$	
為替レート(EUR)	100.64円/EUR	100.00円/EUR	

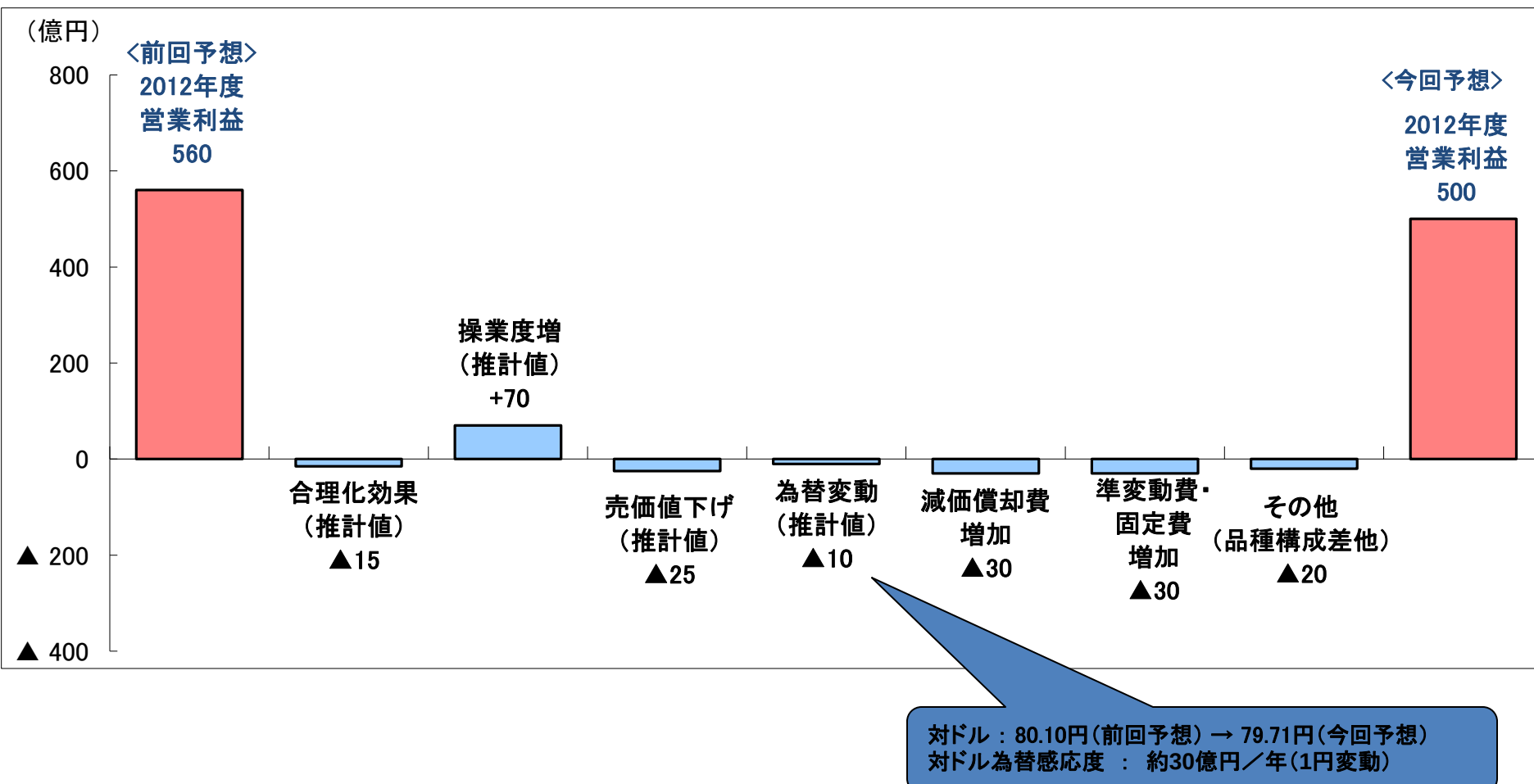
利益変動要因

(2012年度上半期→2012年度下半期予想)



利益変動要因

(2012年度通期前回予想→2012年度通期今回予想)

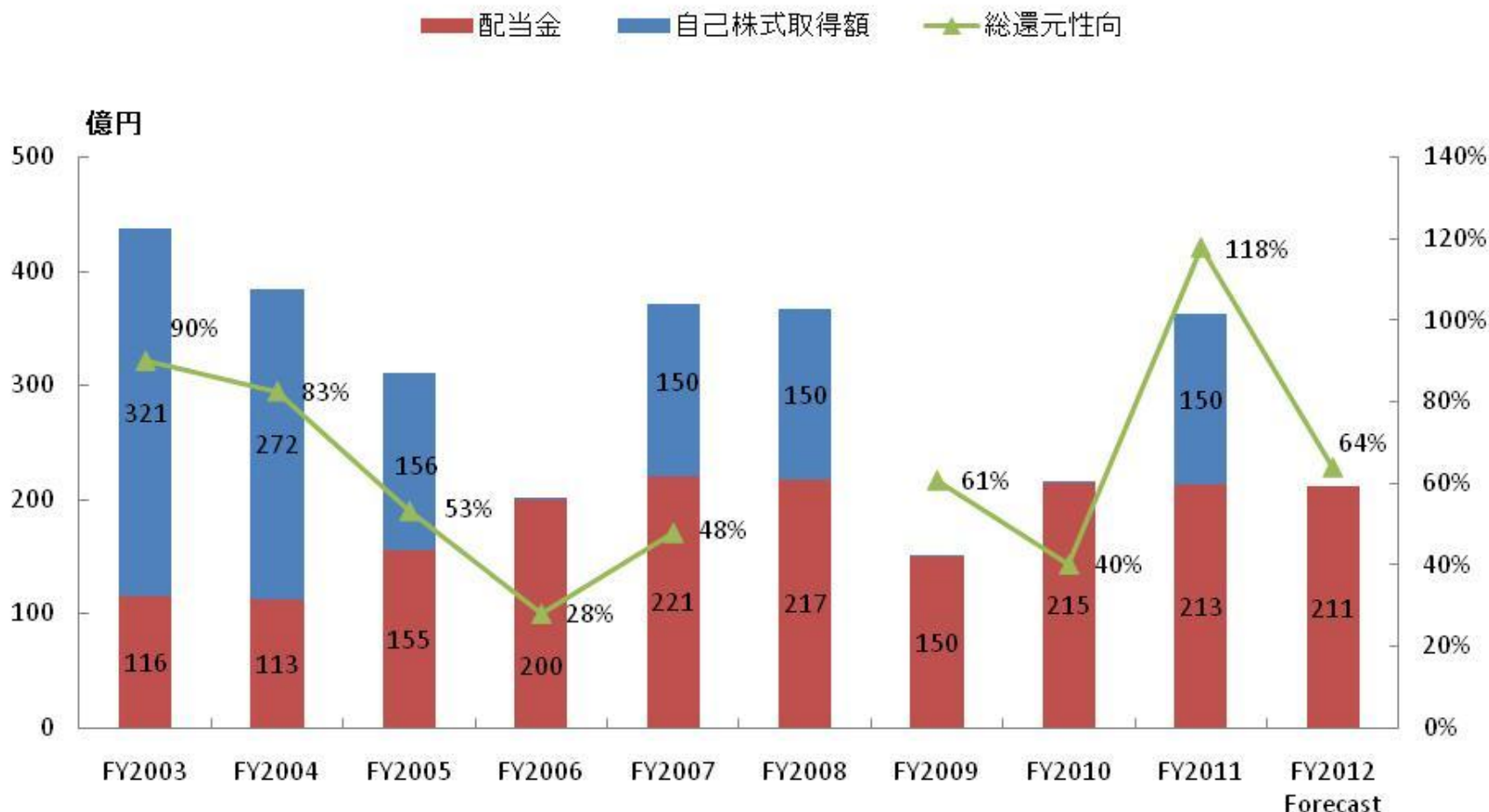


2012年度(2013年3月期)の配当(予定)
1株当たり年間100円(うち中間配当50円)

2011年度の配当実績
1株当たり年間100円(うち中間配当50円)

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります。

株主還元推移



利益還元策としては、配当による配分を優先的に考え、1株当たり利益を増加させることにより配当の安定的な増加に努めます。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。